

ロープアクセスの作業手順

制定・改定日 2022.2.18

項目	内容	留意事項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業内容の確認 作業人員の確認 保護具、服装の点検 使用機器の点検 作業順序、合図の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 指示書の内容確認 安全打合せ書 作業別安全チェックシートの活用 安全装置の確認
作業中の確認	<ul style="list-style-type: none"> 支点アンカーは常に2点以上確保する。 アンカー設置後は必ず仮加重テストを行う。 下降中以外は必ず2点以上からロープと作業従事者が固定されている状態を保つ。 ロープのノット(結び)が正しいか確認をする。 ロープが構造物に接触する箇所にはローププロテクターを使用する。 カラビナ安全環は下向きになっているか確認する。 作業従事者の上下作業禁止。 他の作業従事者の下降ラインを通過するとき。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体重をかけること。 ロープは絶対に踏まない。 使用装備には落下防止対策を講じる。 常に作業従事者同士による位置確認を行う。 ロープアクセス作業者にその旨をかならず伝えて了解を得る。
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具、機材を車両に積み込み、最後にほうき等で清掃を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。

作業編成(標準)		機材		資材		安全器具・保護具	
作業責任者	2名						
現場監視員	2名						
作業員	1名						

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

■注意事項(共通の指導事項)

- ロープは直径11mmのスタティックロープを使用する。
- 使用機器は作業前、作業後に点検を行い劣化が認められた場合は破棄する。
- 2m以上の高度から落下したギアは、亀裂が生じている可能性があることから破棄する。
- 有資格者による、機械作業を行う。
- 機械設置個所の安全確保を確実にを行う。
- 使用工具類にはすべて落下防止の処置をおこなう。
- 7.一人作業の禁止**